

「富士山登山鉄道構想」に関する意見を伺う会 概要

令和6年11月13日（水）11:00～13:30

県庁本館 特別会議室

【出席団体】 富士山登山鉄道に反対する会
富士山の未来を考える市民の会
富士山登山鉄道建設反対県民会議

【山梨県出席者】 長崎知事
長田副知事
和泉富士山保全・観光エコシステム推進統括官

概ね各団体の共通の見解として、以下の点について確認できた。

- 来訪者コントロールは必要であるとの意見で一致した
- 現状のLRTによる構想に反対する主な理由は以下の通り
 - ・ 鉄路敷設は初期投資が過大、災害復旧のコストも大きい
 - ・ 鉄路敷設は大規模工事となり、自然破壊が避けられない
 - ・ 雪崩や落石などによる被害が想定される
 - ・ 防災対策やライフラインの整備など優先すべき事項がある
 - ・ 信仰の山であり元々禁足地であるため、今以上の負荷をかけるようにするべきである
- すぐに導入できる代替案としてはEVバスが最適だが、環境負荷が少なく来訪者コントロールが可能な方法であれば、他の方法（例えばクリーン水素など）でもよい
- 冬季の入山は一定の節度をもった範囲内とする。喧伝せず節度ある使い方であれば許容しうる
- 来訪者管理（分散化）には麓からの登山も普及すべきである
- 麓の二次交通の拡充も必要である

県としては、各団体のご意見を踏まえ、引き続き富士山にふさわしい交通システムを研究して参りたい。

以上